

在宅勤務制度などを通じて女性の活用を行っている中小企業

福岡県北九州市の株式会社オーネスト(従業員49名、資本金3,500万円)は、工場の生産設備の制御等を行う産業用情報システムの構築を専門とする情報システム会社である。大手企業で技術者及び技術管理者として勤務した経験を有する現社長が、技術者時代に感じていたニーズを満たす、情報システム構築サービスの新しい提供手法を自ら実現するために、1999年に創業した。

産業用の情報システム業界においては、大手のハードウェアメーカーがハードウェア、ソフトウェア、エンジニアリングという3分野にまたがって、各メーカー独自の製品・サービスを提供してきた。こうした中、同社は、異なるメーカーが提供する、産業用の情報システムに関連するハードウェアやソフトウェアなどの製品を、顧客の要望に応じて組み合わせること(産業用コンピュータシステムインテグレーション)により、顧客にとって最適なシステムを低コストで構築している。

このような複数のシステムを取り扱うためには、開発スキルの高さが重要であることから、同社では人材育成に力を入れており、とりわけ女性の優秀な能力の活用に努めている。まず、賃金については、成果主義を導入し、男性・女性の区別なく、従業員が取り扱うことができるシステムの種類等が増えるほど、当該従業員の給与が増える仕組みとしている。その上で、能力向上のための自己啓発については会社が負担することにより、従業員のモチベーションを向上させている。

同社の女性正社員比率は、約40%と比較的高いこともあって、育児支援にも力を入れており、従業員の必要に応じて在宅勤務にも対応している。同社の在宅勤務制度は、従業員が事前に在宅勤務の希望日(1回につき最大3日間、回数制限なし)と在宅勤務における作業内容を提示し、業務遂行上効率的であると認められれば在宅勤務が許可される、というものである。さらに、在宅勤務で必要となるパソコンが自宅にない場合は、購入費用の一部を同社が負担するなどといった支援にも力を入れており、従業員が仕事と生活の調和を達成できる環境整備に努めている。

